

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-163	16-061	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol misuse, risky sexual behaviors, and HIV or syphilis infections among Chinese men who have sex with men. 中国人男性同性愛者におけるアルコール乱用と危険な性行為および HIV/梅毒感染症		
執筆者		
Liu Y, Ruan Y, Strauss SM, Yin L, Liu H, Amico KR, Zhang C, Shao Y, Qian HZ, Vermund SH.		
掲載誌		
Drug Alcohol Depend. 2016 Nov 1;168:239-246. doi: 10.1016/j.drugalcdep.2016.09.020.		
キーワード		PMID
AUDIT-C、大量飲酒、中国、HIV、同性愛者、性的危険行為、梅毒		27723554
要 旨		
目的： アルコール乱用を標準化された方法で評価し、男性との性行為がある男性 (MSM)におけるアルコール乱用と HIV・梅毒感染との関連を検討した研究はほとんどない。そこで、中国人男性同性愛者における飲酒と HIV・梅毒感染との関連を検討した。		
方法： 2013~2014 年、北京の MSM を対象とした横断研究を行った。対象者の社会的要因、危険な性行為の有無および飲酒習慣スクリーニングテスト (AUDIT)を用いて、過去 3 ヶ月間の飲酒とその乱用パターン (危険飲酒、大量飲酒、アルコール依存症リスク)をインタビュー形式で調査した。AUDIT-C \geq 4 点を危険飲酒者、6 杯/回以上の飲酒を大量飲酒者と定義した。ロジスティック回帰分析を用い、危険飲酒者、大量飲酒者、アルコール依存症高リスク者 (AUDIT-C \geq 8)の HIV・梅毒感染の調整オッズ比 (AOR)を算出した。		
結果： 3,588 人の参加者のうち、危険飲酒者は 14.4%、大量飲酒者は 16.8%であった。危険飲酒者と大量飲酒者は双方とも、高齢、北京に長く住んでいる者、町や村の出身者、雇用者、高所得者、HIV に対しての認識が低いもしくはない者、インターネットを経由せずに相手を見つける者が多かった。危険飲酒者や大量飲酒者はそうでない者と比較して、有害薬物の使用、性行為前の飲酒、複数のパートナー、性交渉のために人を雇う、コンドームを使用しない肛門行為をする者が多かった。さらに、大量飲酒者 (AOR 1.34, 95%CI 1.02-1.77)、危険飲酒者 (AOR 1.36, 95%CI 1.02-1.82)で HIV 感染である可能性が高かった。また、アルコール依存症の高リスク者では HIV 感染 (AOR 2.37, 95%CI 1.39-4.04)、梅毒感染 (AOR 1.96, 95%CI 1.01- 3.86)の可能性が高かった。		
結論： 中国 MSM においてアルコール乱用は、危険な性行為および HIV・梅毒感染リスクの増加と関連した。このことから、MSM を対象としたアルコールリスクを減少させる試みが必要であると考えられる。		